



MK STYLE

栗原医療器械店 人材像コミュニケーションマガジン

vol.6
2022/12

2 座談会

「MK STYLE」が掲げる、
「楽しむ」ってどういうこと？

6 About, MK STYLE

選ばれ続けるパートナーへ
 株式会社 栗原医療器械店
KURIBARA MEDICAL INSTRUMENTS





が掲げる、楽しむってどういうこと？

栗原医療器械店が掲げる新たな人材像「MK STYLE」の発表から1年。

皆さんは「MK STYLE」の最後の項目、「楽しむ」をどのように実践していますか？

今回は日常の業務における「MK STYLE」や「楽しむ」への結びつけ方について、4人の方々に語り合っていました。

— 栗原医療器械店に入社された経緯と、現在の業務について教えてください。

武藤 私は前職が金融機関です。企業にお金を融資するだけでなく、企業の成長を実感できる仕事に就こうと、昨年当社に転職しました。今は主にM&Aに関する業務や各種PJT・会議の運営に携わっています。

新井 私も武藤さんと同じく中途入社です。新しい仕事にチャレンジしたいと思って秘書職に応募しました。総務、経営企画や人事などを経て、現在は健康経営に関する業務を担当しています。

境野 私は父がMRということもあり、医療業界を志望していました。地元である群馬県で働きたいという思いもあったので、2012年に新卒で入社しました。現在は営業企画部で、営業の皆さんにキャンペーンのご案内などを行っています。

大和田 私は以前に一度当社に入社して、営業をしていました。次第に医療機関やメーカーの動きを見てみたいと思うようになり、医療機関や医療ITベンチャーに転職しました。2018年には再び当社に戻り、ECサイトの構築に取り組んでいます。

経営管理本部

武藤 啓介さん



営業推進本部

営業企画部

企画推進課 課長

境野 翔太さん



事業開発推進本部

事業企画部

EC推進課 課長

大和田 友帆さん



総合企画本部

インターナルマーケティング課

新井 睦さん



Q1 自身の成長を図る 道しるべに

—「MK STYLE」が発表されて1年が経ちました。発表された当初、MK STYLEの人材像・行動指針について率直にどのように感じましたか？

大和田 私の場合、目指すべき方向性が示されたことで、「MK STYLEが掲げる人材像になれるように学んでいきたい」と思うようになりました。それまで「どのように成長していけばいいのか」というイメージがなかなかつかめず、雲の中を進んでいるような感覚があったので、MK STYLEの発表はとてもポジティブに受け止めました。

新井 私は当初、率直に「求められていることが多くて難しい」と感じましたし、戸惑いもありました。ただ、みんながMK STYLEを意識して行動できればきっと今よりも強い会社になれるのだろうな、と思いました。

境野 正直、少し近寄りたがたい話だと思っていたのですが、MK STYLEで掲げられている人材像は会社だけではなく社会全体に求められているものだな、と思いました。仕事ができると思う人はみんなMK STYLEを体現していると感じます。同時に、MK STYLEと現在の自分とのギャップを感じて危機感を覚えましたね。

武藤 私も境野さんに近い感覚です。自分はこの行動指針に合う人材ではないと思っていたので……。ただ、こうして「9+1」が可視化されるのは良いことですね。自分にできていること、できていないことをわかりやすく振り返ることができると思います。

Q2 「学び」、「気づき」ながら 「寄りそい」続ける

—ご自身の業務で、「MK STYLE」を実践できていると思う部分について教えてください。

武藤 転職という「挑戦」をしてちょうど1年、日々の全てが「学び」「気づき」「考える」につながっています。業務の性質上、理解を深めなければ進められないことも多いので、好奇心を持って学び続けたり、話を聞いたりすることは意識しています。

境野 実践できているかどうかは別として、「寄りそい」を意識しています。私はもともと営業職だったので、自分が大変だと思っていたことは営業の皆さんにさせたくないという思いが強く、本部から指示を出す際は伝え方を工夫するようにしていますが、まだまだ課題が山積みです。

新井 私が担当している健康経営も、「寄りそい」がないと従業員の皆さんには響かない取り組みです。皆さんの健康に寄与していくために、まずは自分で「学び」「考える」ことで知識や意見を持ち、相談を受けた際には説得力をもって話ができるようにしたいと考えています。

大和田 事業企画部では「気づき」から「成長する」までの6項目が特に重要ですが、意識的に強化しているのは「つながり」です。私が理想としている組織像は、苦手を克服するのではなく“好き”を伸ばせる組織。強みのあるメンバー同士でつながりを深めて、良いものをアウトプットしていきたいと思っています。

Q3

成果が積み上がること、 視野が広がること…… 「楽しむ」は、十人十色

——「MK STYLE」の最後の項目は「楽しむ」です。Q2の実践を通じて、どのような点で「楽しむ」を実感していますか？

大和田 今の仕事は正解がなくて、いつもチームのみんなで手探りしています。自分たちでレールを敷いて、やってきたことが積み上げられていく感覚がすごく楽しいと実感しています。

新井 健康を維持するためには疲れていても歩くなど、苦になることも多いです。でも、皆さんに勧める以上、まずは自分が楽しいと思えるように気持ちを切り替えるようにしています。

境野 私は仕事が好きというよりも、自分を評価してくれる人の期待に応えたいという意地がモチベーションです。本当は「楽しむ」ができるようになりたいのですが、なかなか難しく……。

大和田 “意地”は私もあります！意地で積み上げたものを振り返ったときに結果があって、「楽しかったかも」と思えるのかもしれませんが。

武藤 私はいろいろな人とつながりを持って、視野が広がることが楽しいですね。ここにいる皆さんも、畑は違いますが接する機会が多く、そのたびに自分にはない気づきが得られるのが面白い。社内だけではなく、ホールディングスの方々ととのやり取りからもさまざまなことを吸収できていると思います。

Profile



経営管理本部
武藤 啓介さん

2021年中途入社。前職では金融機関にて、企業への融資を担当。「企業の成長に直接的に関わりたい」と転職を決意。入社後はM&Aや各種PJT・会議の運営などに携わる。

武藤さんの週末。 週末は、すべて子ども中心です！休日はいろいろなところを連れて回っています。



営業推進本部
営業企画部 企画推進課 課長
境野 翔太さん

2012年入社。MRの父親の影響などから栗原医療器械店を志望。営業職を経て、現在は営業企画部。会議体の事務局や学会対応を担う。

境野さんの週末。 フットサルをしています！健康維持ほか、社外の方との関係構築にもつながっています。



事業開発推進本部
事業企画部 EC推進課 課長
大和田 友帆さん

2018年中途入社。誰かの役に立ちたいとの思いから医療業界を志望。栗原医療器械店へ入社後、他社を経て幅広い製品を扱える点に魅力を感じ、再び栗原医療器械店へ。

大和田さんの週末。 週末は、妻や妹のYoutube活動を手伝っています。思わぬスキルアップにつながっています！



総合企画本部
インターナルマーケティング課
新井 睦さん

2007年中途入社。「違う業界で新しい仕事に挑戦したい」と栗原医療器械店の秘書職を志望。総務、経営企画、人事などを経て、現在は健康経営の推進を担う。

新井さんの週末。 週末は、子どもたちと過ごしています。すぐに成長してしまうので、一瞬一瞬を大切にしたいです。



Q4 「楽しむ」の

共感の輪を広げたい

— ご自身はもちろん、より多くの方が「楽しむ」を実感するためにはどのようなことが必要でしょうか？

新井 日々の業務が忙しい方々に「楽しむ」を伝えるのは難しいですね。まずは「楽しむ」を自分ごととして捉えてもらい、共感を広げることが大切だと思います。

大和田 今、こうして4人で話していても価値観の違いを感じます。「楽しむ」の押し売りにならないように、それぞれが思う「楽しむ」を伝え合い、中間地点で合致することに取り組んでもいいと思います。

境野 確かに、営業の皆さんは忙しいのでたとえプラスになることであっても業務以外のことを考えるのは大変かもしれません。皆さんが今の仕事に専念できて、余裕が生まれる環境があれば、前向きに捉えてもらえるのではないで

しょうか。

武藤 仕事は基本的に大変でつらいことではありますが、人生の大半を費やすものです。だから、せっかくなら楽しんでやれた方がいいですね。MK STYLEの要素の中で、誰も「今日はこの項目で一步進んだ」と思える部分が絶対にあるはず。そういうことを感じられたら、楽しめるようになる気がします。

新井 休み明けの月曜日はよく憂鬱だと言われますが、ネガティブな気持ちで仕事に取り組んでしまうと、嫌な時間が続いてしまいます。私はそういった状態は避けたいと思っているので、できるだけ仕事を楽しめるように心がけています。

せっかくなら楽しく仕事がしたい。
それぞれの「楽しむ」を見つけていこう。

— 最後に、
今後の展望や社員の皆さんへの
メッセージをお願いします。

大和田 自分では気づかなくてもMK STYLEを実践している人は多い気がします。話し合ったり褒め合ったりしながら、MK STYLEを伝播させるつながりを作っていきたいです。

武藤 DXが進んでも、企業の核となるのは最終的に人と人の「つながり」だと感じています。日々の業務の中、みんなで「楽しむ」を見つけていければと思います。

境野 会社が変わろうとしている中、私は付いていくのが精一杯ではありますが、変化を恐れずより良い形にしていきたいと思います。

新井 私の業務において、お客様は従業員の皆さんです。皆さんが困ったときに「寄りそい」、「導く」ことができる人材を目指していきたいです。



About,

MK STYLE

栗原医療器械店が掲げた新たな人材像「MK STYLE」。
策定に関わった人たちに、込められた思いやそのこだわりを伺います。

- 気づき
- 学び
- 考える
- 挑戦し
- 変化し
- 成長する
- 寄りそい
- つながり
- 導く

PART

05

楽しむ



「楽しむ」から、すべてが始まる。目の前の仕事を楽しもう！

皆さんの、働く理由は何ですか？

家族のため、お給料のため、成長のため。働く理由は人それぞれです。でも、どんな理由でも、やるからには楽しみながら取り組みたいと思いませんか？

「MK STYLE」が掲げる9つの行動は、「楽しむ」が土台になっています。「仕事」である以上、自分のやりたいことばかりとは限りません。「楽しむ」の定義も、一人ひとり異なります。

しかし、どんな困難に直面しても「楽しむ」ことさえ忘れなければ9つの行動を指針に、何度でも歩み始めることができるはずです。

新人材像「MK STYLE」の策定からまもなく1年。

人材像コミュニケーションマガジンMK STYLEは、これからも、「楽しむ」を力に未来を切り開く皆さんを応援し続けます。



vol.6 2022/12

MK STYLE 2022年12月発行 発行：(株)栗原医療器械店 総合企画本部
〒373-8557 群馬県太田市清原町4-6 TEL：0276-37-8181(代表) FAX：0276-37-8557